



学校だより

# たくま

白鷹町立荒砥小学校

令和3年 4月23日

## 「元気！本気！琢磨校」150年の歴史とともに

校長 菅原 透

こぶし、桜、水仙、菜の花…。美しい花達が心を和ませ、新たないのち燃ゆる爽やかな季節を迎えました。新入生36名、全校生256名、教職員29名で令和3年度がスタートです。

今年度は創立150周年の節目となります。このような社会情勢ではありますが、先人の歩みに支えられた歴史と伝統を誇る琢磨校を一層輝かせるべく、学校経営に邁進いたします。

今年度キーワードは昨年度に引き続き、

◆学校像「元気！本気！琢磨校」

◆子ども像「あいうえお名人」

(あいさつ・いい姿勢・歌声・えんぴつ・おもいやり)

◆大人の姿「四かけ人」

(手をかけ、声をかけ、目をかけ、心をかける)

としました。年度ごとにめざす姿を変え、新鮮さを生み出すよさもありますが、同じ目標に向かって、新たなアプローチで更なる高みをめざすのは、難しくもやりがいがあることと考えています。本校勤務3年目となり、輝きを増す子どもの姿をもとに学校を磨き上げ、勢いを生み出します。今年度は「学校運営協議会」制度が導入され、これまで以上に地域と手を携え、ともに子どもを育て、地域に活力を与える学校として歩み続けたいと思います。皆様よりのお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、新年度がスタートしてまだ日が浅いわけですが、もうすでに、子ども達

のすてきな笑顔がいっぱい見られました。

◆7日の入学式。1年生は緊張の中にもしっかりした態度で臨み、やる気満々。前日行われた6年生による準備作業も、最高学年の初仕事として懸命に取り組む姿が印象的でした。



◆13日と15日の交通教室では、命を守る学習にしっかり臨むことができました。14日は朝方の雨で急遽延期となりましたが、お家の方の温かいご配慮で対処することができました。



◆16日は6年生フラワー長井線もりあげ隊の活動で菜の花定植。翌日から水やりを欠かさない姿に地域といのちを大事にする心の育ちを感じました。



◆19日は3年生の紅花播種。町に先がけ本校で始めた20年を越える伝統活動が、今年も確かに受け継がれました。

◆21日は1年生を迎える会。例年とは違う工夫を6年生が考え、全校生が心を紡ぎ合う楽しいひと時になりました。

1学期の合言葉は「スタートダッシュ」。新たな学年でがんばろうとする意欲を大切に、150年の歴史と伝統を感じながら、自らの努力と仲間との切磋琢磨で充実した日々にしてまいります。